

【九州広域復興支援ファンド】 HMS 株式会社に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構(略称 REVIC)が九州地方の地域金融機関等と共同で設立した「九州広域復興支援ファンド」(以下、「本ファンド」という。)は、HMS 株式会社(以下、「HMS」という。)に対し投資を実行しましたので、お知らせいたします。

なお、本件は、本ファンドの第 27 号投資案件となります。

HMS は、独自の AI 画像処理技術等を搭載した産業用カメラや画像解析 AI プラットフォームを提供するベンチャー企業です。同社は熊本大学の准教授であった、胡 振程氏により 2018 年に設立され、2022 年には経済産業省より「J-Startup KYUSHU」に選定されています。

少子高齢化などの社会情勢の変化による深刻な人手不足に伴い、製造業を中心に工場自動化や DX 化による生産性向上の取組みが進められていますが、自動化等にあたっては、人の「目」に代わるカメラ等の視覚センサを中心とした画像処理技術が重要です。

従来の画像処理技術は、固定設置された産業用カメラを用いた外観検査が主な用途でしたが、HMS は、独自の AI 画像処理技術や自己位置推定技術をカメラに搭載することで、移動しながらでも高精度かつ高速な画像処理をワンストップで提供できる産業用カメラを開発しました。外観検査のみではなく、無人搬送車 (AGV) や協働ロボット等への活用により、更なる自動化等の推進が可能となります。

また、これまでに培った画像処理技術を活用して、独自のアルゴリズムを基に画像解析 AI プラットフォームを開発しました。既存のインターネットカメラであっても、当該プラットフォームに連携することで AI 画像処理ができる点に特徴があり、導入コストの低減や速やかな AI 導入が可能となります。

本ファンドでは、HMS が提供する産業用カメラや画像解析 AI プラットフォームを通じた工場自動化や DX 化による中長期的な地域企業の生産性向上への貢献を期待し、同社の事業拡大に必要な資金の一部を支援いたします。

今後も、本ファンドは九州地域の活性化を通じて、当地の復興に貢献するため、九州地域の事業者及び同地域の復興に資する事業者に対する投資を行ってまいります。

【産業用カメラ製品例(一部抜粋)】

＜ SiNGRAY StereoPro シリーズ 活用例:人や物体などを認識して駆動する無人搬送車 (AGV)など ＞



＜ SiNGRAY R シリーズ 活用例:目標物を検出する産業用ピッキングロボットなど ＞



【投資先の概要】

企業名	HMS 株式会社
本社所在地	福岡県福岡市博多区
設立年月	2018 年9月
代表者	胡 振程 (HU ZHENCHENG)
事業内容	AI カメラ・画像解析 AI プラットフォームの開発・販売
ホームページ	https://www.hms-global.com/

【九州広域復興支援ファンドの概要】

機構ホームページをご参照ください。

<https://www.revic.co.jp/business/fund/06.html>

以 上

＜お問い合わせ先・ご相談の連絡先＞

株式会社地域経済活性化支援機構 <https://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590